

おすすめの本 **6** 月号



<小学1・2年>

<小学3・4年>



『ひとつぼし』

きくた まりこ 著
 白泉社

お絵かき、かけっこ、歌、ダンス…。みんなちがう、ひとつ星。きみの光は、きみだけのもの。「いつでも会える」の菊田まりこがあたたかいエールをおくる絵本。



『ねこのさら』

かわはた まことさく 著
 ロクリン社

宿場はずれの茶屋でお宝を発見した目利きの骨董屋。ところが茶屋の主人は、まったくそれに気づいていない。お宝を手に入れようと、骨董屋はある作戦に打って出るが…。滑稽噺として有名な落語を描いた絵本。

<小学5・6年>

<全学年>



『わたしを描く』

つお うえんしんさく 著
 曹文軒作、スージー・リー絵、申明浩訳、広松由希子訳
 あかね書房

ウロは絵を描くことがだいすき。はじめて自画像を描くときにえらんだのは、高名な画家が生前に発注したという雨露麻でできたキャンバス。けれど、絵を描き上げると不可解なことが起きて…。自分と向き合い成長する少女の物語。



『小学生の野菜づくりブック』

ふじた さとしかんしゅう 監修
 家の光協会

コマツナ、ミニトマト、イチゴ、ゴーヤー…。子どもがプランターで野菜を育てられるよう、種まきから収穫までの作業ごとにイラストでわかりやすく解説する。観察・記録ノートの書き方、クイズ、用語集なども収録。

<小学1・2年>



『ぼくのねこポー』

いわせ しょうごさく 著
 岩瀬 成子作、松成 真理子絵
 PHP 研究所

学校からの帰り道、塀の上にはいたねこを家に連れて帰った。ぼくの家のねこになってくれたらいいな、と思っていたけれど、仲良くなった転校生の森くんから、引越した日にねこが逃げ出したことを聞いて…。



『あさいち』

おおし かくや 著
 大石 可久也
 福音館書店

朝市は、海でとれたもの、畑でとれたものを持ちよる商いの場。そこには潮のかおりと土のにおいがたちこめ、人びとにとって楽しいおしゃべりと社交の場でもある。石川県「輪島朝市」の活気ある風景を描いた絵本。



『おしりたんてい あらたなるかいとう』

トルロさく・え
 ポプラ社

国際的犯罪組織のボス、かいとうGが発明したガジェットをつけられたおしりたんていは、「かいとう0」として、あるミッションに挑むことに…。絵探しをしながら犯人を捜す、謎解き探偵読み物シリーズ第11弾。

<小学3・4年>



『死神です 2』

しにがみ 著
 有田 奈央文、アン マサコ絵
 光村教育図書

死神から、残された命があと1か月だと聞かされたおばあさん。好きだったことや、してみたかったことを思い浮かべ、しばらく会っていない娘にもう一度会いたいとつぶやくと、死神は「まだ時間はありますよ」と言い…。



『光源氏』

ひかるげんじ 著
 春野 まことまんが、はの まきみシナリオ、高木 和子監修
 集英社

平安時代、紫式部によって書かれた長編物語「源氏物語」の主人公・光源氏は、美しく、学問・芸術ともに才能がありました。数多くの恋をし、多くの人びとに愛された光源氏の生涯を漫画で紹介し…。



『おもしろすぎる山図鑑』

ひげ隊長 著
 主婦の友社

読むと「山に行きたくなる!」「山が10倍楽しくなる!」本。山や登山、森林、生きものについて、豊富な写真とイラストで解説する。全国のおすすめ山歩コース20選も掲載。

<小学5・6年>



『この世で一番妖しい答え・赤』

いちはんあや 著
 魔夜 妖一、えいとえふ作、意味怖 P 編
 あかね書房

コレを知ったとき、この世は恐怖に変わる…。『ムラサキ少女』特別なジビエ料理「窓に浮かぶ白い手」など、深読みするほど恐ろしい新感覚ホラー全44話を収録する。各話の最後に問いと解説も掲載。



『17シーズン』

もず りょういち 著
 百舌 涼一
 講談社

学校で「ぼっち」の音々は、クラスの優等生・天神くんから句会の誘いを受ける。「五・七・五」の17音を紡ぎ、吐き出すことで、音々は…。悩みや生きづらさを抱えた中学生が、俳句を通して新しい未来を切り拓く物語。



『君色パレット 2-3 なんでもないあの人』

きみいろ 著
 濱野 京子、柳月 美智子、林 けんじろう著ほか
 岩崎書店

町で有名な赤いスカートをはいた男の人、ぜんぶわかってたつもりだったのに急によくわからない存在になってしまった友達…。多様性をテーマに「なんでもないあの人」を描いた、4つのショートストーリーを収録する。